（別紙３）

公表　放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	DELIGHT AND　帝塚山教室			
○保護者評価実施期間	2025年　3月　1日		～	2025年　3月　19日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	35	（回答者数）	21
○従業者評価実施期間	2025年　3月　1日		～	2025年　3月　19日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　3月　25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ほとんどの利用児童が、児童発達支援から継続しての利用となり、途切れることなく適切な支援ができている。また他事業所や学校など関係機関と情報共有を行うことで適切な支援を行うことを意識している。	小学校への進学時には、放課後等デイサービス・児童発達支援のスタッフと保護者との面談の機会を作り、面談内容から3者で支援方針を決めるようにしている。	保護者とより利用児童一人ひとりの成長を喜べるよう、情報共有の機会をより多く作れるようにしていく。
2	プログラムが固定化しないよう、様々なカリキュラムを構築し、利用児にあったプログラムを提供している。	複数の職員が、事前にプログラムを考えて、当日利用児童の様子を予想しながら日々設定している。またそのプログラムにおいては、個々の課題に寄り添ったものを反映させている。	今後も、利用児一人ひとりの興味や課題に合わせた活動プログラムを意識して取り組んでいきたいと思っている。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時の事故対応、災害対応などのマニュアルは整っているが、非常時等の対応について認知されている保護者が少ない。	マニュアルについて、契約時に案内する程度のため、周知する手段を検討する必要があると思われる。	定期的にマニュアルの周知をするため、連絡網アプリを使用し、啓発していくようにする。また保護者向けの研修等も実施できればと考える。
2	保護者同士の交流の機会が少ない。	働いておられる方も多く、交流の場の設定が難しい。	ご希望される保護者もおられるので、交流会の開催を検討していく。
3			